

## 平成 16 年度 第 7 回常任理事会 速報録

日 時 平成 16 年 10 月 23 日 (土) 午後 1 時 ~ 5 時  
場 所 日本病院会 会議室  
出席者 19 名 + 委任状 5 通 (定数 26 名)、顧問・参与等 11 名

### 〔承認事項〕

#### 1. 会員の入退会について

福井県・大滝外科胃腸科病院の正会員の入会 1 件と国立病院機構の再編による退会 1 件及び賛助会員の入会 5 件について諮られ、承認された。計、正会員数は 2,709 病院 (公的 956、私的 1,753、総病床数 71 万 1730 床)、賛助会員数は 540 会員となった。

#### 2. 厚生労働省及び各団体からの依頼について

「バリアフリー 2005」の後援依頼 (依頼元: 大阪府社会福祉協議会) 等 6 件の依頼事項について諮られ、後援不適とした 1 件を除いて承認。厚労省等の対外委員会の派遣依頼について交替を含め 4 件の推薦を決めた。

#### 3. 人間ドック・健診施設機能評価の認定について

京都・武田病院健診センターの機能評価認定を調査報告書にもとづき承認。6 件のパイロットスタディの後、手上げによる認定第 1 号となる。

#### 4. 第 2 四半期一般会計及び特別会計の収支・監査報告について

7 月 ~ 9 月の第 2 四半期一般会計及び 5 つの特別会計の収支報告について、予算対比とともに説明され承認。

### 〔報告事項〕

#### 1. 各委員会、研究研修会の開催報告について

- (1) インターネット委員会 (9/30、10/15) ... 第 2 回インターネットシンポジウムを「病院 IT 化の光と影」として来年の日病学会で行い、インターネット会議システムのデモ見学を企画した。日本病院会のロゴマークは総務委員会で予算等検討し、ロゴタイプ (文字) を選定

- した。役員会等のホットな情報のネット公開を進めることとした。
- (2) 病院経営管理者教育委員会(10/1) ...本通信教育のシラバスの基本的考え方として、医療に関する知識、経営に関する知識、両者を用いて管理するための知識とし、は医療管理総論、は経営管理総論、は経営管理演習という3つの方向で進むこととした。
- (3) 診療情報管理士教育委員会(10/1) ...平成16年度夏期試験合否判定の結果、通信教育卒業687名(合格率75%)、大学・専門学校認定381名(同80%)で、前回保留者を合わせ総計1131名の認定数となる。専門課程小委員会(10/7)ではリポート、試験等を検討。
- (4) 予防医学委員会(10/1、10/14) ...人間ドック判定・指導ガイドライン作成委員会(10/1)では乳房触診にマンモグラフィと超音波の追加を検討。人間ドック・健診施設機能評価委員会(10/14)では9月開始の機能評価に現在50施設が手上げし、サーベイヤー事務系の補充を計画。また、本事業について四病協で意見交換を行う。
- (5) 人材育成委員会(10/7) ...病院長・幹部職員セミナー及び臨床研修指導者養成講習会と当委員会との関わりが未整備で来ており、総務委員会でもう一度整理することとした。事務長セミナー、看護管理者セミナーは来年7月のホスピタルショウに併せて開催する計画。図書及び医事研究会から出ている研究会継続要望については、時代の流れから当面単独での開催はないとした。
- (6) 医療経済・税制委員会(10/12) ...規制改革・民間開放推進会議のいう「混合診療が容認されるべき具体例」について委員会で実態調査することとし、保険請求できない医療材料の調査報告は次回11/9で完成予定。企業参入関連で医療法人の経営のあり方を整理して四病協委員会に提出し、病院経営分析調査・平成15年度版は現在調査中で定点観測と併せ本年度内に報告書を作成する。
- (7) 地域医療委員会(10/15) ...「地域医療の実態」をテーマに医療計画の見直しを含め、各委員から京都、新潟、大分での実態報告があり、医療資源の地域偏在、医師の病院離れ(開業医志向)、初期診療の病院集中を問題点に上げて、この対策を検討することとした。
- (8) 雑誌・ニュース編集委員会(10/15) ...日病ニュース新春座談会は長期的展望をテーマに企画することとし、日病雑誌の表紙変更案を総

務委員会に上げて1月号から実施。英文誌も変更する。雑誌の研究会掲載が少なくなるので、各委員会にその号の特集をまかせて論文や座談会を企画し、日病学会の演題掲載を拡大することも検討した。

(9) ICS 養成小委員会 (10/18) ...今年度11月から始まる第3回感染管理講習会の実施に向けて協議した。募集定員は150名増の450名とし、3クールとも東京港区の同一会場で行い、プログラムは第1回の講義時限をベースに実行に移す段階となっている。

(10) 医療制度委員会 (10/21・22) ...混合診療解禁の動きに対する会の行動として、メディアと接触できたので、解禁反対・特定療養費の堅持で十分であるという主張を国民にどうアピールするか、その対応を2日間討議した。医療従事者のストレス調査は20病院の回答を得、介護保険と診療報酬の各小委員会を立ち上げることにした。

(11) ホスピタルショウ委員会 (10/4) ...今年の結果報告があり、来年の国際モダンホスピタルショウは7/13~15、東京ビッグサイト開催。テーマを従来と変えて、「確かな健康・医療・福祉 クオリティの高いサービスをめざして」と決めた。詳細はこれから検討する。

## 2. 四病協諸会議の開催報告について

(1) 医療保険・診療報酬委員会、介護保険小委員会合同委員会 (10/1) ...厚労省医療課長から平成18年度の診療報酬及び介護保険同時改定と混合診療問題について説明を受け、意見交換した。18年度改定に対しては前倒しして、来年3月には四病協の要望をまとめる方針とした。混合診療問題は外保連、内保連の動きを含めて説明。

(2) 医業経営・税制委員会 (10/6) ...規制改革・民間開放推進会議の「株式会社等の病院経営参入」提言に対して、医療の非営利原則を守る観点から「参入不可」とする委員会の見解をまとめ、10/27の総合部会に提出する。医療用医薬品の流通改善懇談会の第2回会合を報告、総俣山買いでメーカー・卸側と意見対立している旨の説明。

(3) 医療制度委員会 (10/12) ...「医療計画の見直し等検討会・ワーキンググループ報告書」を検討、基準病床の算定が課題であるが、三位一体改革の地方六団体提案によって報告書が絵に描いた餅にならないよう要望する。医療法の医師数算定の全国一律基準を問題視した。

### 3．AHF 理事会の開催報告について

10/8、タイ・バンコクでアジア病院連盟（AHF）理事会が開かれ、インドが加盟するなど一部加盟国の交替と、学会のあり方などを討議した。

### 4．その他

- (1) 人間ドック学会・学術図書編集委員会（10/1）...来年 8/25～26 秋田開催の第 46 回学会日程について説明。健康医学の編集、投稿規定について協議。学会の日本医学会加盟申請に取り組むこととした。
- (2) 厚労省から 9/30 付、「改正特区法の医療法等の特例運用について」と 10/1 付、「医療安全推進週間の実施について」の通知。
- (3) 医療機能評価機構・改定部会（10/1）...評価項目バージョン 5.0 について最後の詰めを行った。11 月上旬に上部委員会に提出する。
- (4) 社会保障審議会医療部会（10/14）...三位一体改革の地方六団体提案は補助金削減等で確実に医療提供体制の確保ができるか監督が必要とし、医療機関のインターネット情報は規制が必要と論議した。
- (5) 「臨床検査技師法改正案」の臨時国会提出について、日本臨床衛生検査技師会から趣旨説明があった旨の報告。
- (6) 国土交通省・ユニバーサルデザインの考え方に基づくバリアフリーのあり方懇談会（10/15）...旧建設省のハートビル法や交通バリアフリー法関連の見直しを検討する第 1 回会議に病院の立場から出席。
- (7) 日医・医事法関係検討委員会、診療情報の提供に関する指針検討委員会合同委員会（10/22）...個人情報保護法の厚労省ガイドラインが来週決まるので、日医の施策を決めていくこととした。
- (8) 保健・医療・福祉 Web EXPO 組織委員会（10/13）...医療情報システム開発センターの Web EXPO は来春、第 3 回開催から常設に。

### 〔協議事項〕

#### 1．国民医療推進協議会総会について

10/21、日医会館での「国民医療推進協議会総会」に山本会長が出席。日医中心に医療関係 35 団体が参加し、混合診療に反対していく継続的な協議会として立ち上げた。具体的には署名運動と地域集会を行い、戦略的には「国

民のみなさん、わたしたちの国民皆保険制度を守りましょう！」と訴えるポスター、チラシを配り、職員や患者さん等に説明して1病院1000名の署名を目標とし、11/12までに日医に届けることとした。地域の病院協会としてまとめる場合は報告をいただき、運動に賛同することを承認した。

## 2．混合診療について

前回の役員会決議を受け、混合診療問題の国民への理解を得る目的で、日病独自のポスター及びチラシ(案)を作成した。ポスターは2点、黄色の危険信号を表す交通標識の中に、保険診療と自由診療の線が混じって一本となった行く先に「混合診療」の文字と、その下に「本当に患者さん本位の医療なのでしょうか？」と書き、もう一点は、ピュアな赤ちゃんの眼を大写しにしたデザインで、いずれも患者さんや一般の人に、規制改革・民間開放推進会議の意見を鵜呑みにしないで混合診療のおかしなところを考えてくださいという狙いで作ったと説明。これを会員に配布して院内掲示してもらい、またチラシを配って、患者さんや一般の人に、この問題は病院・診療所の利益のために行うのではなく、国民が良質の医療を受けられなくなる危険性があるので共に協力し理解してもらうような運動を展開することを強調することとした。先の日医のポスター、チラシとはダブることとなるので、その点もあわせ協力依頼することとなった。

もう一点、医療制度委員会の報告にあるように、メディアとの2回目の懇談を週明け、月曜日に予定しているので、それに向けて日病の姿勢や、どう主張していくかの議論を整理した。混合診療解禁によって民間保険が入り、保険診療が縮小し、医療費が膨らみ、国民の負担が増すという図式をわかりやすく、また、現状保険外診療を混ぜても全額自己負担とせず病院の負担でやっていること、入院患者の経済力の差によっては同室で同病の患者に違った医療を行うことになりかねない、などと指摘があった。

## 3．個人情報保護について

厚労省の第6回「医療機関等における個人情報保護のあり方に関する検討会」が9/30開かれ、前回提示された「ガイドライン(案)」の修正版について概略報告。個人情報保護法は来年4月施行が予定され、医療関係はこの「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」が実質上の法律となるが、医療そのものには守秘義務があるので関係者はやや無関心と心配な点もある。日病ニュースに解説が載るが、来春に勉強会などを企画して間違いのないよう対応したい旨の説明がなされた。